

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

5

2026 MAY

第276号

学校長からのメッセージ

新緑が目鮮やかな、気持ちの良い季節になりましたね。皆さんはゴールデンウィークの計画など立てましたか？私は混雑が少し苦手なので、無理をせず、のんびりと心身を休める時間にしたいなと思っています。

先日、新聞で「受援力（じゅえんりょく）」という言葉を知りました。これは、「困った時に『助けて』と声を上げ、周りからの助けを上手に受け取る力」のことだそうです。

私自身の学生時代を振り返ってみても、「困っている人がいたら助けてあげましょう」とは教わりましたが、反対に「自分が困った時にどう頼ればよいか」を教わった記憶はありません。むしろ、「頼ることは相手の迷惑になるんじゃないか」「相談するのはカッコ悪い」あるいは「自分の気持ちをちゃんと受け止めてもらえるだろうか」…そんなふうに不安にばかりなっていたように思います。

しかし、その記事には「頼ることを自分自身で肯定することの大切さ」が書かれていました。助けを必要としている人は、周囲の「誰かの力になりたい」という優しさを引き出す、貴重なきっかけをくれる存在なのです。まずは軽い相談から「頼る筋トレ」のように練習を積み重ねること。その際、「ありがとう」と感謝を添えることで、助けた側にも喜びや生きがい生まれます。感謝して頼ることは、実は「周りの人を大切にすること」にもつながっているのです。

さて、5月からはスクーリングが本格的に始まります。（Yリンクコースは7月から）。「よし、頑張るぞ！」と意気込む一方で、通学やレポート作成に不安を感じている人もいるでしょう。もし立ち止まってしまったら、本校の3つの約束にある「一人で悩まず相談する」を思い出してください。

YMCA 学院高等学校では、皆さんが安心して相談できる環境づくりを大切にしています。私たち教職員は、いつでも皆さんの気持ちに寄り添います。皆さんも在学中に、自分のペースで「感謝して頼る練習」にぜひチャレンジしてみてください。一緒に、あなたに合った解決方法を見つけていきましょう。

（校長 池田 博人）

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」（マタイによる福音書 第7章 7節）

学校法人 大阪YMCA

YMCA 学院高等学校

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町 1-3

TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831



[こちらから](#)大阪YMCAの機関紙
「大阪青年」にアクセスできます





今月の聖句

わたしの目にあなたは価高く、貴く
わたしはあなたを愛し
あなたの身代わりとして人を与え
国々をあなたの魂の代わりとする。
恐れるな、わたしはあなたと共にいる。

(イザヤ書 43章4～5節)

神さまが私たちに語っておられます。

「わたしの目にあなたは高価で尊い。あなたは価値ある者だ。あなたの存在には意味がある」。

皆さんの中には「ボクのような失敗ばかり繰り返している人間に価値があるはずなんかない！」とか「友だちができない私なんて意味ある存在でも何でもない！」とか「自分のことが大っ嫌い！」とか、そのように考えている人が少なくないかもしれません。

けれども、私たちがどんな人間であっても、たとえ私たちが神さまのことを無視したり、バカにしたりしたとしても「わたしの目にあなたは高価で尊い」と、神さまは私たちに語ってくださいます。神さまは私たちの過去や行いを問題にされないからです。

YMCA学院高校では「聖書の時間」があります。聖書を通して神さまを学ぶこと目的は、自分を本当の意味で大切にす心、自分を生かす心を育むためです。それは、自分を押し殺そうとするような心ではなく、自分の存在を喜ぶ心です。

聖書を通して繰り返し神さまが私たちに語られることは「わたしの目にあなたは高価で尊い」というメッセージです。どうか、少しずつでいいので、聖書を通して、この神さまのメッセージに触れてみてください。必ず私たちが価値ある者で、神さまに大切にされている存在であることを発見し、私たちに生きていく力と喜びが与えられ、大きな可能性が見えてきます。



「今月の聖句」 自己紹介

岸本 大樹(きしもと だいき)

大阪市旭区で牧師をしています。好きなことは、井之頭五郎のように『孤独のグルメ』を実践すること(ただし、B級やC級専門)、スーパー銭湯でボーっとすること…。

